

バドミントンUSオープン



14年大会女子単を制したBeiwen Zhang(米国、左)と準優勝、伊東可奈(日本、右)

来年6月に L1で開催

米国バドミントン協会(U.S.A. Badminton)は11月20日、全米で最大のバドミントンの国際大会2015 USオープン(公認・世界バドミントン連盟IBWF・冠協賛・YONEX・賞金総額12万ドル)を来年6月16日(火)から6月21日(日)まで、ロングアイランドのブレントウッド・サフオーク・カウンティ・コミュニケーション・カレッジで(日本語可)。

開催すると発表した。本大会は2016年リオデジャネイロ五輪出場をかけた予選にあたり、世界の強豪が集結、今年国別対抗戦トマスカップを初制覇した日本代表の参加も予定されており例年以上に高いレベルの熱戦が期待される。USオープンに関する詳細はウエブサイト www.usopenpg.com また大会事務局ではスポンサーを募集している。問い合わせはEメール info@usopenpg.com (日本語可)。

五輪出場枠獲得に期待 元日本代表 プロバドミントン選手 池田信太郎



池田信太郎(2005年2012年日本代表として世界選手権で男子複と日本初のプロバドミントン選手として活躍中)

2015年はよいよ2016年リオ五輪への出場枠をかけた戦いが始まりです。私もUSオープンには北京、ロンドン五輪予選の年にあたる2007、11年と過去2回出場しています。いずれの年もともども印象に残っている大会の一つです。

2007年は世界選手権直後で、第1シードされたが一回戦負け。この取りこぼしがレオス終盤まで響いてなかなか五輪出場を決められず苦しい思いをしました。逆に2011年はミックスダブルスという新しい種目でゼロからのスタートだったのですが3位入賞、これをきっかけに調子を上げてこの後の大会もコンスタントに成績を残すことができました。

「とも」宗教を超えて歌う フラッシング人権週間に参加



今回の「とも」特別コンサートは、フラッシング抗議書に基づいた人権週間に記念し、人権の尊重と宗教の自由、少数派宗教への迫害の排除を呼び掛けるフラッシング・インターフェース協議会の主催で、フラッシングのランドマークであるタウンホールで初めて開かれた。コンサートには、地元クインズの女声合唱団やスピリチュアル・フォークシンガー、ヒンズー教誦唱のリーダー、フラメンコダンサー、さらに伝統的なアラブ音楽のアーティストら6組のグループが出演。当日は、ニューヨークを中心に活動している日系合唱団「とも」の音楽監督の白田正樹さんの指揮のもと、参加者全員がステージに上がり、聴衆と一緒に「すべての山に登れ」を全員合唱し、会場全体がひとつになり大いに盛り上がった。

「とも」が5日、フラッシング人権週間に参加した。多文化交流特別コンサートに参加した。人種の垣根(るつぼ)といわれるニューヨーク。そ

なかでも最も多くの人種・民族・宗教が混在している地域がクインズ区にフラッシングといわれている。1657年、時のクエーカー教徒弾圧令に抗議し、中心に活動している日系合唱団「とも」の音楽監督の白田正樹さんの指揮のもと、参加者全員がステージに上がり、聴衆と一緒に「すべての山に登れ」を全員合唱し、会場全体がひとつになり大いに盛り上がった。

新ニューヨーク歳時記

大島聖子

あんなにいつも天気の良いニューヨークですのに、12月もクリスマス近くになると、晴れた日は少なくなり、今日も朝からどんよりとした寒空で、近くのスーパーまで買物に出かけると、帰り道には雲が降ってきました。

みぞれ降り野外彫刻めれそぼつ

雲(みぞれ)

「Swing Low」

Harriet Tubman Statue
122nd St and St Nicholas Ave

カット Masuo Ichida

街 Saint Nicolas Ave を通りかかると122丁目目にはハリエット・タブマン Harriet Tubman の銅像が立っています。

タブマンは奴隷解放の運動家として知られています。タブマンは1820年生まれ。メリランド州ドーチエスター出身で彼女自身も初めは奴隷でしたが、後にアメリカ北部やカナダへ黒人奴隷が逃亡するのを援助したアンダーグラウンドレールロード Underground Railroad の指導者のひとりになりました。その功績を讃え、古代エジプトの時代、奴隷となっていたイスラエル人をカナンの知へ導いたモーゼにちなみ「黒人のモーゼ」Black Mosesとも呼ばれています。

タブマンはメリランド州の黒人奴隷であった両親から生まれました。生まれた時の名はアラミンダ・ロスでした。ハリエットというのは母の名前で、母の死後、名乗ったものです。5歳からメイド兼子守として働き、1844年頃、同じ奴隷であったジョン・タブマンと結婚、長年の奴隷生活に耐えましたが、奴隷監督から受けた虐待の傷は一生後遺症として残りました。

BETH ISRAEL MEDICAL CENTER

ベスイスラエルメディカルセンター

東京海上記念診療所

JAPANESE MEDICAL PRACTICE

東京海上日動火災保険(株)の寄付により設立されたベスイスラエル病院の診療所です

マンハッタンオフィス

内科専門医

科目 内科、各科初期診療、企業健診、各種定期健診、移民・ビザ健診、予防接種。

施設内放射線科検査
施設内専門外来

レントゲン検査、超音波検査、CT検査、その他各種。
皮膚科、整形外科、外科、眼科、泌尿器科、耳鼻科等。

ウェストチェスターオフィス

内科専門医・小児科専門医による小児科(新生児から)・老年病科専門医による老年病科

科目 内科、小児科専門医による小児科(新生児から)、老年病科専門医による老年病科、各科初期診療、企業健診、キャンプ、スクールフォーム健診、各種定期健診、移民・ビザ健診、予防接種。

同建物の提携施設でのレントゲン等各種放射線検査。
同建物内や近隣の専門医外来へのご紹介。



桑間 雄一郎 院長
内科専門医
東大医学部外科認定医を経て、ベスイスラエル病院内科で専門医資格取得。
現在アインシュタイン医科大学准教授。



ロザレス・ロウェナ 医師
内科専門医
ルーズベルト病院で専門医資格取得。
10年以上にわたり日系医療に携わってきたベテラン内科医。



加納 麻紀 医師
内科・小児科専門医
NYマウントサイナイ医科大学の内科、小児科で専門医資格取得。
日系コミュニティのボランティア活動にも積極的に参加。



木村 啓子 医師
内科・老年病科専門医
全米屈指の病院メイヨークリニックで内科、老年病科専門医資格取得。
高齢者特有の疾病や健康管理にも精通。

55 E. 34th Street, New York, NY 10016 (Park Ave.とMadison Ave.の間、DOCS 2階)
TEL: 212-889-2119 (ハヤクニ119番)(日本語) 平日 8:00AM~4:45PM

141 S. Central Ave., Suite 102, Hartsdale, NY 10530 (Drexel Heritage家具店向かい、Hartsdale Plaza横)
TEL: 914-997-1200 (日本語) 平日 9:00AM~5:00PM

多数米国医療保険に加盟しています。各種海外旅行傷害保険キャッシュレスサービスお取り扱い
米国医療機能評価機構(JCAHO)の認定を受けている唯一の日系医療機関です。診療はJCAHO認定の医療の質が高い診療機関でお受けください。